

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人吉田向陽会	代表者	川原園勝夫	法人・事業所の特徴	校区コミュニティに加入して地域との交流と、介護相談（特に認知症対応）に力を入れています。また当該施設の2階を解放して「子育て（支援）サロン」や「囲碁同好会」、地域の公園を活用して「グランドゴルフ同好会」などを主催しています。地域の赤ちゃんから小中学生、高齢者の方、そして障害をおもちの方まで幅広く、当施設が憩いの場として活用して頂けるように努めています。
事業所名	吉田太陽の郷	管理者	大園晃生		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	5人	3人	人	1人	1人	人	4人	人	14人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	内部研修の充実と外部研修への取り組みで、職員のスキルアップに努める。また接遇に力を入れる。	良好な結果が残せた。ミーティング（カンファレンス）の回数を増やし、個々のニーズの検討に時間をかけることができたので対応できる幅が広がった。また朝礼に接遇唱和を取り入れた。	ミーティングの報告内容、個々のニーズへの取り組みに関して事業所として努力している姿勢が窺える。運営推進会議からの要望の対応も早く、高い評価ができる。	ミーティングで意見の反映を迅速に行う。その結果、新たに意見・問題点を検討することで、スタッフ全員で問題解決に取り組む。
B. 事業所のしつらえ・環境	地域の方々と挨拶（声掛け）を交わし、職員が地域に溶け込むことで、事業所に訪れやすい雰囲気を作る。事業所の立地場所が分かり難いということなどで広報に力を入れる。	公共の公園が完成してから子どもたちの施設来訪が増え、施設のイベントに飛び込みで参加してくれる回数が増えた。介護相談の件数も増えており地域に認知されつつあることが実感できる。	事業所が地域に根付いている印象を強く感じた。知己の方から介護についての相談を受けることがあり地域の方が事業所に対して興味があるようである。スタッフの方々の対応と接遇に好印象を持っていたい。	地域・校区からの認知度もあがり、今期はサロンや同好会の利用者が増員していることから、「楽しい」「また遊びに来たい」と言われる事業所づくりを目指す。
C. 事業所と地域のかかわり	「サロン」と「同好会」に力を入れてイベントを企画する。事業所の解放と公園を活用することで、老若男女問わず、地域とのかかわりに積極的に取り組む。	年間を通して子育てサロンは時節の行事を取り入れ、同好会とは大会を催して協働してイベントを行った。校区をまたがり多くの方が参加して下さったと感じる。	子育てサロンや囲碁・グランドゴルフの同好会が地域の方々に認知されている事で、これらを接点として相談窓口としての機能が高まっていると感じる。	「サロン」と「同好会」のイベント企画を継続しつつ、若年層世代を取り込んだ交流を図りたい。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域・校区の行事やイベント情報を集め、年間計画を立てて積極的に参加していく。参加した際には、職員が地域の方への声掛けを心がけ「心配な方」などの情報収集に努め、適切な対応に努める。	地域・校区の行事への参加がほぼ定着した。イベントや行事の案内文や参加状など頂く機会が増えていることでも結果に繋がったと感じる。	吉田地区全体の福祉関係のイベントに積極的に参加してもらえると、地域・校区以外の情報交換や課題にも取り組みが協働できると思う。	地域・校区に加え、吉田地区全体の福祉イベントへの参加も視野に入れて、本人にとってより良い交流に繋がるように支援していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	事業所の相談受付窓口を明確化して、法人全体の施設の情報保持することで、相談内容の検討、よりよい提供を目指す。また運営推進会議に報告を行い事業所の評価をつけて頂く。	相談窓口として事務を主体として相談件数が増えている。介護以外の相談もあり多種多様な窓口になってきている。相談内容によってはプライバシーの面で報告できない案件もあったが、概ね、相談者から高い評価を頂いている。	運営推進会議で情報の収集が良くできている。地域での意見交換・情報共有が有意義に活かされていると感じる。また問題点を把握してより良い改善策に繋いでいると感じる。	運営推進会議を通じて地域・校区コミュニティ・吉田地区と協働して、地域に根差したより良い支援に努めていく。
F. 事業所の防災・災害対策	年間計画で防災訓練の回数を増やす。近隣住民や運営推進委員の参加を積極的に促し、協力して頂くことで、事業所の救命・防災訓練に評価をつけて頂く。	今期は毎月の訓練を計画して実行した。また訓練内容にもスライドを用いた訓練などの工夫を行った。分遣隊のご協力をはじめとして、近隣住民、運営推進委員の方々にも参加を頂き、運営推進会議の場でも評価を頂いた。	防災や緊急時の手助けは、やはり近隣住民の協力だと感じる。今後も近隣の方々に協力をお願いしていきたい。また吉田地区の防災訓練の取り組みも参考にして訓練に取り組んでみてはどうか。	近隣住民への参加協力を主にして、訓練を継続して行っていく。また吉田地区の訓練にも積極的にスタッフの参加を促し、防災意識を高めていく。